平成23年９月５日

各　　位

会 社 名　マ ニ ー 株 式 会 社
代表者名　代表執行役社長　松谷　正明
（東証第二部・JASDAQ・コード７７３０）
問合せ先
役職・氏名　執行役専務　髙井　壽秀
電話　　０２８－６６７－１８１１

東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成23年９月５日に東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきまして別添のとおり（添付資料は平成23年７月８日に公表済みの資料です。）であります。

【連結】　（単位：百万円、%）

	平成23年８月期（予想）			平成23年８月期第３四半期累計期間（実績）		平成22年８月期（実績）	
		構成比	前年比		構成比		構成比
売上高	9,180	100.0	△2.8	6,775	100.0	9,443	100.0
営業利益	3,268	35.6	△8.0	2,496	36.9	3,552	37.6
経常利益	3,329	36.3	△7.3	2,565	37.9	3,591	38.0
当期純利益	1,809	19.7	△19.4	1,349	19.9	2,246	23.8
１株当たり当期純利益	157円48銭			117円44銭		196円94銭	

【個別】　（単位：百万円、%）

	平成23年８月期（予想）			平成22年８月期（実績）	
		構成比	前年比		構成比
売上高	9,178	100.0	△2.8	9,443	100.0
営業利益	3,147	34.3	△8.9	3,456	36.6
経常利益	3,194	34.8	△8.0	3,471	36.8
当期純利益	1,698	18.5	△20.6	2,139	22.7
１株当たり当期純利益	147円82銭			187円59銭	

（注）平成23年８月期（予想）の数値は、平成23年４月15日に公表いたしました業績予想修正後の数値となっております。

以上

平成23年8月期　第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年7月8日

上場会社名	マニー株式会社		上場取引所　大
コード番号	7730	URL	http://www.mani.co.jp
代表者	（役職名）代表執行役社長	（氏名）松谷　正明	
問合せ先責任者	（役職名）執行役専務	（氏名）高井　壽秀	（TEL）028（667）1811
四半期報告書提出予定日	平成23年7月15日	配当支払開始予定日	－

四半期決算補足説明資料作成の有無：　無

四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成23年8月期第3四半期の連結業績（平成22年9月1日～平成23年5月31日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年8月期第3四半期	6,775	△1.3	2,496	△3.8	2,565	△2.9	1,349	△16.6
22年8月期第3四半期	6,862	0.5	2,596	5.5	2,643	5.6	1,618	5.9

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
23年8月期第3四半期	117.44	117.36
22年8月期第3四半期	141.98	141.17

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
23年8月期第3四半期	18,890	17,483	92.5	1,519.58
22年8月期	18,988	16,947	89.3	1,479.24

（参考）自己資本　　23年8月期第3四半期　17,483百万円　22年8月期　16,947百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
22年8月期	－	60.00	－	30.00	90.00
23年8月期	－	30.00	－		
23年8月期（予想）				30.00	60.00

（注）当四半期における配当予想の修正有無：　無

平成22年３月１日付をもって普通株式１株につき２株の割合で株式分割しております。平成22年８月期第２四半期末の配当金については、当該株式分割の影響を考慮しておりません。

３．平成23年8月期の連結業績予想（平成22年9月1日～平成23年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	9,180	△2.8	3,268	△8.0	3,329	△7.3	1,809	△19.4	157.48

（注）当四半期における業績予想の修正有無：　無

４．その他（詳細は、［添付資料］P.3「その他の情報」をご覧ください。）

（１）当四半期中における重要な子会社の異動　：無

新規　　-社　（社名　　）、除外　　-社　（社名　　）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　会計基準等の改正に伴う変更：無

②　①以外の変更　　：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年8月期3Q	11,879,000株	22年8月期	11,831,000株
②　期末自己株式数	23年8月期3Q	373,792株	22年8月期	373,792株
③　期中平均株式数（四半期累計）	23年8月期3Q	11,492,903株	22年8月期3Q	11,400,900株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

１．上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

２．平成22年３月１日付をもって普通株式１株につき２株の割合で株式分割しております。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．その他の情報 …… 3
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 3
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 3
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 3
（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書 …… 6
（第３四半期連結累計期間） …… 6
（第３四半期連結会計期間） …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における医療機器業界は、新興国では経済発展に伴い医療インフラの整備が進み、先進国では患者のQOL（生活の質）の向上というコンセプトが定着し先進医療技術が進んでいるため、全体としては引き続き市場の拡大を見込んでいます。一方、長期化している円高・ドル安などの影響や、世界各国の医療費抑制政策強化及びグローバルレベルでの競争激化、病院の安全対策強化による高コスト化、コスト削減を求めたグループ購入化などの市場環境の影響を受け、依然として厳しい状況で推移しております。加えて、３月11日に発生しました東日本大震災により、当社工場も生産活動の一時停止、在庫の破損などの被害を受け、一部では福島原子力発電所の放射能漏れによる風評被害も受けております。

このような環境下、当社グループにおきましては、一刻も早い生産ラインの復旧を通じ、東日本大震災の影響を最小限に止めるべく努力し、従来顧客への拡販と新規顧客開拓に努めた結果、サージカル関連製品及びデンタル関連製品の売上は増加したもののアイレス針関連製品の減少を補うことができず、売上高は前年同期比1.3％減少の6,775百万円となりました。

一方、生産面について、海外工場におきましては、ベトナムの生産拠点MANI HANOI CO.,LTD.（当社100％出資）は、日本からの生産工程移管による生産規模の拡大、並びに品質向上と原価低減を実現するため、フーエン第６期工場の建設を進めております。またミャンマーの生産拠点MANI YANGON LTD.（MANI HANOI CO.,LTD.100％出資）につきましては、引き続き生産性向上に努めてまいりました。さらに、前期稼動を開始したラオスの生産拠点MANI VIENTIANE CO.,LTD.(MANI HANOI CO.,LTD.100％出資）につきましては、品質の安定化に努めてまいりました。国内工場におきましては、新製品の量産準備と並行して、国内から海外拠点への生産工程移管の推進に力を入れてまいりました。

開発及び販売の面では、引き続き、新製品開発に力を入れ、当第３四半期連結累計期間中に新製品として、眼科の緑内障手術用の「マニー・リカバリー・ポートナイフ」、「ミニクレセントナイフ」を発売いたしました。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は6,775百万円（前年同期比1.3％減）、営業利益は2,496百万円（同3.8％減）、経常利益は2,565百万円（同2.9％減）、四半期純利益は東日本大震災による損失の影響もあり1,349百万円（同16.6％減）となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりであります。

（サージカル関連製品）

東日本大震災による生産遅延の影響があったものの、海外需要の堅調な伸びに加え、新規顧客開拓に努めた結果、眼科製品が好調に推移したこと等により、売上高は2,308百万円となりました。また、ステイプラーの原価率が改善し、営業利益は837百万円となりました。

（アイレス針関連製品）

前期に引き続き、心臓血管手術用針が堅調に推移しましたが、大口顧客の在庫調整による受注減少並びに東日本大震災による製品在庫の毀損及び生産設備の一時的な稼働停止等により、売上高は2,174百万円となりました。一方、MANI HANOI CO.,LTD.への生産工程移管を推進し、効率化に努めた結果、営業利益は979百万円となりました。

（デンタル関連製品）

世界経済低迷による歯科患者数の減少、円高、新興国市場を中心に広がるニセブランド品の影響等により、消耗品のリーマ・ファイル等の輸出が低調に推移しましたが、ニセブランド品対策の一定の効果が現れ始めたダイヤバーが好調に推移したことから、売上高は2,292百万円となりました。一方、円高対策による値引等の影響により、営業利益は680百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ98百万円減少し、18,890百万円となりました。これは有価証券並びに現金及び預金が増加した一方、受取手形及び売掛金並びに投資有価証券が減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ633百万円減少し、1,407百万円となりました。これは法人税等の納付により未払法人税等が減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ535百万円増加し、17,483百万円となりました。これは四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,129百万円増加し、5,419百万円となりました。

当第３四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1,423百万円（前年同期比26.5%減）となりました。これは主に売上債権の減少額が増加した一方、税金等調整前四半期純利益が減少したこと及びたな卸資産の増加額が増加したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、370百万円（前年同期は1,113百万円の支出）となりました。これは主に有価証券の売却及び償還による収入がなくなった一方、定期預金の払戻による収入及び投資有価証券の売却及び償還による収入が増加したこと、並びに投資有価証券の取得による支出及び定期預金の預入による支出が減少したこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、627百万円（前年同期比5.7%増）となりました。これは株式の発行による収入が増加した一方、配当金の支払額が増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間の業績につきましては、「（１）連結経営成績に関する定性的情報」のとおりであります。通期の連結業績予想につきましては、平成23年４月15日付で発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の数値から変更ありません。

２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

（四半期連結損益計算書）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年３月24日　内閣府令第５号）の適用により、当第３四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成23年５月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年８月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,480,219	4,292,786
受取手形及び売掛金	1,267,950	1,728,708
有価証券	1,396,766	996,433
製品	668,158	612,483
仕掛品	1,313,489	1,217,858
原材料及び貯蔵品	652,968	486,861
繰延税金資産	149,624	197,651
その他	113,257	121,522
貸倒引当金	△1,903	△2,612
流動資産合計	10,040,531	9,651,694
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,576,820	2,625,045
機械装置及び運搬具（純額）	1,495,030	1,544,979
土地	1,146,656	1,146,656
その他（純額）	584,845	508,481
有形固定資産合計	5,803,352	5,825,162
無形固定資産		
のれん	－	3,681
ソフトウエア	21,429	25,331
その他	25,752	29,163
無形固定資産合計	47,182	58,176
投資その他の資産		
投資有価証券	2,498,679	2,952,766
保険積立金	324,129	320,562
繰延税金資産	176,210	147,776
その他	614	32,832
貸倒引当金	－	△48
投資その他の資産合計	2,999,633	3,453,888
固定資産合計	8,850,168	9,337,228
資産合計	18,890,699	18,988,922

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成23年５月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年８月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	104,859	83,020
未払金	388,537	415,140
未払法人税等	34,072	774,995
賞与引当金	127,204	262,199
災害損失引当金	137,010	－
その他	215,062	96,614
流動負債合計	1,006,745	1,631,969
固定負債		
退職給付引当金	142,373	159,165
役員退職慰労引当金	240,100	231,480
その他	18,400	18,400
固定負債合計	400,873	409,045
負債合計	1,407,618	2,041,015
純資産の部		
株主資本		
資本金	988,731	960,363
資本剰余金	1,036,311	1,007,943
利益剰余金	17,160,407	16,499,610
自己株式	△1,159,422	△1,159,422
株主資本合計	18,026,028	17,308,495
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,542	24,295
為替換算調整勘定	△535,404	△384,883
評価・換算差額等合計	△542,947	△360,587
純資産合計	17,483,080	16,947,907
負債純資産合計	18,890,699	18,988,922

（２）四半期連結損益計算書
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年９月１日 至　平成22年５月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年５月31日）
売上高	6,862,136	6,775,442
売上原価	2,697,471	2,639,766
売上総利益	4,164,664	4,135,676
販売費及び一般管理費	1,567,897	1,638,698
営業利益	2,596,767	2,496,977
営業外収益		
受取利息	38,571	24,101
受取配当金	8,058	9,793
為替差益	7,928	2,301
補助金収入	－	27,811
その他	7,293	10,155
営業外収益合計	61,851	74,163
営業外費用		
支払利息	702	110
投資事業組合運用損	12,362	5,215
その他	2,110	45
営業外費用合計	15,175	5,372
経常利益	2,643,443	2,565,768
特別利益		
貸倒引当金戻入額	398	709
固定資産売却益	332	1,201
投資有価証券売却益	－	3,870
特別利益合計	730	5,780
特別損失		
過年度人件費	－	47,213
固定資産除却損	1,209	3,450
投資有価証券評価損	1,722	－
災害による損失	－	391,682
特別損失合計	2,931	442,346
税金等調整前四半期純利益	2,641,241	2,129,202
法人税、住民税及び事業税	983,209	738,324
法人税等調整額	39,288	41,208
法人税等合計	1,022,497	779,533
少数株主損益調整前四半期純利益	－	1,349,669
四半期純利益	1,618,744	1,349,669

（第３四半期連結会計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結会計期間 （自　平成22年３月１日 至　平成22年５月31日）	当第３四半期連結会計期間 （自　平成23年３月１日 至　平成23年５月31日）
売上高	2,364,396	2,096,329
売上原価	910,352	780,429
売上総利益	1,454,043	1,315,899
販売費及び一般管理費	553,560	522,289
営業利益	900,482	793,610
営業外収益		
受取利息	13,200	8,069
受取配当金	4,176	4,306
為替差益	6,431	9,237
補助金収入	－	131
その他	3,505	2,930
営業外収益合計	27,314	24,675
営業外費用		
支払利息	210	36
投資事業組合運用損	6,884	1,844
その他	2,099	45
営業外費用合計	9,194	1,926
経常利益	918,602	816,359
特別利益		
貸倒引当金戻入額	－	384
固定資産売却益	332	△1
特別利益合計	332	383
特別損失		
過年度人件費	－	3,533
固定資産除却損	608	3,348
災害による損失	－	391,682
特別損失合計	608	398,564
税金等調整前四半期純利益	918,325	418,179
法人税、住民税及び事業税	315,506	110,882
法人税等調整額	53,308	29,981
法人税等合計	368,814	140,864
少数株主損益調整前四半期純利益	－	277,315
四半期純利益	549,511	277,315

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年９月１日 至　平成22年５月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年５月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,641,241	2,129,202
減価償却費	561,789	477,190
のれん償却額	5,521	3,681
災害損失	－	391,682
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△4,535	△757
賞与引当金の増減額（△は減少）	△93,790	△133,441
退職給付引当金の増減額（△は減少）	5,990	△16,306
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	14,430	8,620
受取利息及び受取配当金	△46,629	△33,894
支払利息	702	110
有形及び無形固定資産売却損益（△は益）	△332	△1,201
固定資産除却損	1,209	3,450
投資事業組合運用損益（△は益）	12,362	5,215
有価証券及び投資有価証券売却損益（△は益）	△559	△3,870
有価証券及び投資有価証券評価損益（△は益）	1,722	－
売上債権の増減額（△は増加）	74,656	457,008
たな卸資産の増減額（△は増加）	△161,413	△382,185
その他の流動資産の増減額（△は増加）	36,809	5,321
仕入債務の増減額（△は減少）	63,608	21,839
未払金の増減額（△は減少）	△142,173	△4,807
その他の流動負債の増減額（△は減少）	233,767	119,993
その他	9,896	18,004
小計	3,214,274	3,064,856
利息及び配当金の受取額	27,627	29,551
利息の支払額	△1,489	－
災害損失の支払額	－	△206,161
法人税等の支払額	△1,304,613	△1,464,716
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,935,799	1,423,529
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△400,000	△58,534
定期預金の払戻による収入	400,000	1,000,000
有価証券の取得による支出	△199,895	△101,000
有価証券の売却及び償還による収入	402,775	－
投資有価証券の取得による支出	△791,609	△198,400
投資有価証券の売却及び償還による収入	101,007	297,660
投資事業組合分配金による収入	1,500	4,500
有形固定資産の取得による支出	△612,527	△568,749
無形固定資産の取得による支出	△15,335	△3,276
保険積立金の積立による支出	△3,717	△3,717
保険積立金の解約による収入	－	150
その他	4,748	1,555
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,113,054	370,188

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年９月１日 至　平成22年５月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年５月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	27,895	56,736
配当金の支払額	△622,046	△684,480
財務活動によるキャッシュ・フロー	△594,151	△627,744
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,601	△36,103
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	226,992	1,129,870
現金及び現金同等物の期首残高	4,131,813	4,289,219
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,358,805	5,419,090

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

［事業の種類別セグメント情報］

前第３四半期連結累計期間（自平成21年９月１日　至平成22年５月31日）

当社グループは、医療機器の製造及び販売を業としており、単一事業を営んでおります。従って、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

［所在地別セグメント情報］

前第３四半期連結累計期間（自　平成21年９月１日　至　平成22年５月31日）

	日本（千円）	アジア（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	6,862,136	－	6,862,136	－	6,862,136
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	7,190	615,816	623,006	(623,006)	－
計	6,869,326	615,816	7,485,143	(623,006)	6,862,136
営業利益	2,540,492	100,045	2,640,538	(43,771)	2,596,767

（注）１．国または地域は、地理的近接度により区分しております。

２．本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

アジア……ベトナム、ミャンマー、ラオス

［海外売上高］

前第３四半期連結累計期間（自　平成21年９月１日　至　平成22年５月31日）

	北米	欧州	アジア	その他の地域	計
Ⅰ　海外売上高（千円）	586,866	1,888,797	1,663,398	474,347	4,613,409
Ⅱ　連結売上高（千円）	－	－	－	－	6,862,136
Ⅲ　海外売上高の連結売上高に占める割合（％）	8.6	27.5	24.2	6.9	67.2

（注）１．国または地域は、地理的近接度により区分しております。

２．各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

北米……米国、カナダ、メキシコ

欧州……スペイン、ドイツ、イタリア他欧州諸国

アジア……中国、インド、台湾他アジア、中近東諸国

その他の地域……ロシアを含む上記地域以外の諸国

３．海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

［セグメント情報］

１．報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会等の意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱う製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは製造販売体制を基礎とした製品別のセグメントから構成されており、「サージカル関連製品」、「アイレス針関連製品」及び「デンタル関連製品」の３つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主要な製品は次のとおりであります。

報告セグメント	主　要　製　品　名　等
サージカル関連製品（手術用医療機器関連製品の提供）	アイド縫合針、針付縫合糸、皮膚縫合器、眼科ナイフ、深部縫合器、骨用のこぎり、血管ナイフ
アイレス針関連製品（糸メーカーへの手術用縫合針の供給）	アイレス縫合針、針付ＯＥＭ
デンタル関連製品（歯科医療機器関連製品の提供）	リーマ・ファイル、クレンザー、ブローチ、カーボランダムポイント、シリコンポイント、ダイヤバー、カーバイドバー、ステンレスバー、ピーソリーマ、歯科用イージーポスト、歯科用実体顕微鏡、歯科用レーザー治療器、マイクロファイル

２．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第３四半期連結累計期間（自　平成22年９月１日　至　平成23年５月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）
	サージカル関連製品	アイレス針関連製品	デンタル関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	2,308,580	2,174,096	2,292,766	6,775,442	―	6,775,442
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,150	115,892	―	117,043	△117,043	―
計	2,309,730	2,289,989	2,292,766	6,892,485	△117,043	6,775,442
セグメント利益	837,715	979,259	680,003	2,496,977	―	2,496,977

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（追加情報）

第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。